

農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名：豊かな自然環境と暮らしを育む山城地域ふるさとの森づくり計画
- 2 整備計画年度：平成22年度～平成24年度（3年間）
- 3 事後評価年度：平成25年度

事後評価項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	<p>本計画の実施地区は大半の地区が平成23年度に地域自主戦略交付金に移行したため、これらを関連事業に位置づけし、事後評価を一体的に行うこととします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 治山事業 山城地区 計画期間内の事業は実施できませんでした。残事業を次期計画で実施予定。 ・ 森林整備事業 山城地区 平成24年度に完了しました。 ・ 農業用水保全の森づくり事業 山城地区 平成22年度に完了しました。 ・ 漁場保全の森づくり事業(保安施設事業) 山城地区 平成24年度に完了しました。 ・ 効果促進事業 山城地区(漁場保全の森づくり事業関連) 平成24年度に完了しました。 ・ 森林環境保全直接支援事業 山城地区 平成24年度に完了しました。
②事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 治山事業 山城地区 計画期間内の事業は実施できませんでしたので、次期計画で事業効果が発現するよう目指します。 ・ 森林整備事業 山城地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 農業用水保全の森づくり事業 山城地区 平成22年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 漁場保全の森づくり事業(保安施設事業) 山城地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 効果促進事業 山城地区(漁場保全の森づくり事業関連) 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。 ・ 森林環境保全直接支援事業 山城地区 平成24年度の事業完了により事業効果が発現しました。
③成果目標の目標値の実現状況	<p>① 間伐材の利用 【目標値】 148m³/年 (H18～20 平均) → 314m³/年 (H22～24 平均) 【実現状況】 148m³/年 (H18～20 平均) → 837m³/年 (H22～24 平均)</p> <p>② 山地災害防止機能が高まった集落数の増加（3カ年） 【目標値】 16集落(H21 時点) → 19集落(H24 時点) 【実現状況】 16集落(H21 時点) → 17集落(H24 時点)</p>
④今後の方針	<p>整備計画年度を平成25年度～平成27年度（3年間）とする新たな計画を樹立し、今後とも山地災害の復旧を治山施設等により実施し、荒廃した森林の再生を進めることで森林の公益的機能の維持・増進を図り、安心・安全な地域づくりに努めることとします。</p>